



かごしまけんしていゆうけいぶんかざい さいごうなんしゅうしょ けいてんあいじん さいごうなんしゅうけんしょうかんぞう
鹿児島県指定有形文化財 西郷南洲書「敬天愛人」(西郷南洲顕彰館蔵)

けいてんあいじん いみ
○ 『敬天愛人』ってどんな意味？

なんしゅうおういくん
南洲翁遺訓 二十四条

みち てんちしぜん もの ひと おこな けい もくてき
『道は天地自然の物にして、人はこれを行ふものなれば、天を敬するを目的とす。』

われ どういつ あい たま ころ なり
天は人も我も同一に愛し給ふゆえ、我を愛する心をもって人を愛する也。』

みち てんち おの ひと のつ おこな
道というのはこの天地の自ずからなるものであり、人はこれに則って行ふべきものであるから

なに てん うやま もくてき たにん じぶん びやうどう あい たま
何よりもまず、天を敬うことを目的とすべきである。天は他人も自分も平等に愛し給うから、

ころ かんよう
自分を愛する心をもって人を愛することが肝要である。

けいてんあいじん いみ りかい むずか
『敬天愛人』の意味を 100%理解するのは、とても難しい

じぶん あい ひと
ことだけど、「自分を愛するように人を愛する、つまり自分を

たいせつ おも おな きも やさ ころが
大切に思うのと同じ気持ちで人に優しくしよう」という心掛

はじ
けは、すぐにでも始められることだね！



ごじゅうきょういく おし
○ 郷中教育 の教え

ま
「負けるな」（自分に負けるな）

うそ い
「嘘を言うな」

よわ もの
「弱い者をいじめるな」

とっても大事な教えだね!!



べんきょう はじ じっしんさい うた
郷中教育では、勉強の初めに日新斎いろは歌の

みち き とな おこな かい
「いにしへの道を聞いても唱えても わが行いにせずば甲斐なし」

むかし けんじん おし くち とな
意味： どんなに 昔の賢人の教えを聞いても口で唱えても、
じっこう うつ なに
それを実行に移さなければ何もならない。

さんかいふくしょう お とき どうよう おこな
を三回復唱し、終わる時も同様に行いました。

やまさかたっしゃ あしこし きた ぶんぶりょうどう はげ ちゅうこう じっせん
また、山坂達者で足腰を鍛え、文武両道に励み、忠孝を実践したのです。